（大正十年十二月十二日第三種郵便物認可）　昭和十四年七月二十三日　夕刊　七月二十二日發行

愛犬メッスのこと

金澤重治

僕の家の愛犬は、雖たかお話を子供にきかせ通しでらメッスと呼んでゐます――……』なんて云はれ、メッスこのメッスは僕たちと同棲してからもう十三年目になります。相當老齢の方ですりだ』と云つては門の外まが、まだまだ至つて元氣でお送つて下さるといふ事居ります。

メッスは、謂はば家族の一員として働いてゐます。例へば『一寸その眼鏡を持つて來てお呉れ』、とか『その新聞を取てお呉れ』、とか『そ呉れるのでせう。

×

速動でくたびれ、ゴロリ、寝込むと大きないびきをグウ――立てます。これは立派な癖の方でせう。そ

家へ持ち歸ると云ふやうな御使いなども致します。

この犬は實に性質が善良で。和やかで、可憐です。そして僕たち人間の蓄積食藥をよく吞込んで居て、一目見ただけでそれを悟ります。だから僕たちの心を和らげ慰める所の雰圍氣を作ります。

僕の家へ持ち歸ると云ふ事が、僕にかなり大きいびきを立てる癖があるらしい。

と聞き慣れたのか、メッスも今では大きいしかも人間の通りのいびき聲を

ですが、犬たちで一番中一度はウンチをしないとどうもからだの工合が――この

ウンチをする形が彫刻的にて呉れて、我が家庭に於て非常に面白いと思つて、大切な働きをして呉れてゐますよ。

×

總じて犬の嫌ひな方にはこの犬のすぐれた良い所にお氣付きにならないから、中にはどうしてあんなに可愛がるかと不思議に思はれる方もありますな。けれども、また中には『メッスちやんを是非……』と云ふて立派な別莊の御座敷へ、人間よりもメッスを御招待下さると云ふやうなメッスファンの方も居られて、わがメッスは光榮の至りとニコ〳〵して招かれて行きます。

このメッスは長年、人間相手に生活しつけた爲めかよく僕等の言葉を解して言ふことを聞くといふので、近所の知人のお宅にはお子供衆がメッスを敬愛して下さつて、メッスのお話をすると皆さんおとなしく言ふ事をお聞きに成る相です。御親戚などから『メッスの分犬の用を足す時間が早過ぎるので遂々スケッチは間に合ひませんでした。

聞金成上院議員病癒（其の二）

珠雲　小野路平

一病鄉綿綿憎不伸
閑鄉朝夕憶高人
回春聞說加清健
時事欣君又日新

〇

青い柳の蔭でした、白いゆかたの夏姿
一つの姿忘られぬ、白いゆかたの夏姿

富士子

23日　△江戸城成る（慶長一一）△國姓爺
7月　生る（寛永元）△丸橋忠彌捕はる（慶安四）△機織品、燃料、食料品の

講談

恩讐無道

（159）

人物　香川三十代藏
愛憎相剋（一）

なみの子供たちにくらべると、ものわかりのいゝ、さかしい專之助なのであつた。

それが、こちらの氣のやうだとばかりも考へられない。ムズかつて仕方がなかつた。妙に、すつと不機嫌になつた。

母親が出かけてからこちらあとを追ふといつし、背がながかつたがそのまゝ、どんな怒りをもつてしても、專之助の機嫌は、直りさうではなかつたのである。

庄太郎は、ことごとく不安であつた。

きのふ、またしても、種島正臣から、使ひの者が來たと、茅江はいつてゐた。そして、ゆうべ聞かせたがほもに、彼女は、この朝早く種島の邸へ出かけて行つたのだ。

『庄太郎さんのお心持は、うれしく思つてゐますが……あたしに、それが怖いのです。どうぞ、無暴なことだけはつゝしんで下さい。庄太郎さん。あなたの身に萬一のことがあると、あたしは悲しみます』

と、さう前置きして、一徹な若者の心をなだめてから、茅江は、隱し終はせるものでないと思つて、種島のことを話したのである。

それからである。庄太郎が、茅江に詰め寄つたのは……。

種島正臣といふ男の邸へ行くことは、まるで、仕掛けられた罠へわざ〳〵近寄つて行く牝鹿も同然の運命であると、彼は、誠實を顔へあらはしてさとした。專之助の母親だといふ身分からでも、どうぞそんな危險へは近付かないでくれ、とどめた。

けれど、茅江の決心はかたく、庄太郎のすすめには頷かなかつたあくまでも、種島の邸を訪ねると主張した。

最後には、

『これだけは止めないで下さい』

と、キッパリいひ切るのだつた

庄太郎に、返す言葉はなかつた

庄太郎は、思ふのだ。

おのれの身を案じてくれるならこのたつた一ツの、切ない願ひを聞き屆けてくれるばいいものを――と

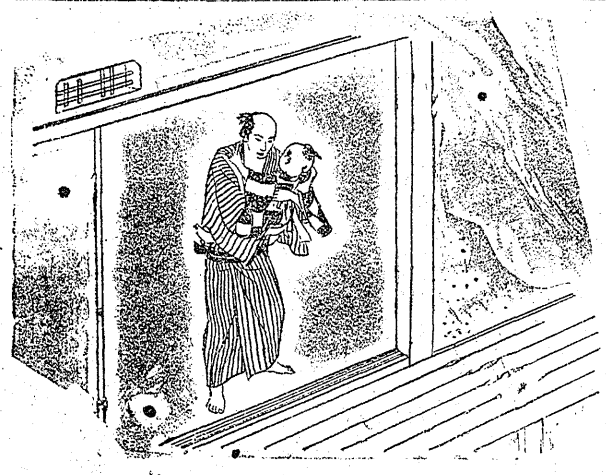
しかし、ち江の決心の強固なのを見ると、その上どうにもいわなかつた。庄太郎の立場として、どこまでも押し切つて、とゞめられる性質のものではなかつた。

たゞ、無事であることを祈るのが、彼として、せい一杯の仕事なのだ。

この朝、不安でならない庄太郎は、河岸へ行つて買はまらなく、

『旦那……』

と、彼は、專之助を抱い泣ベソで、隣家の離波恒吉のところの廂をくぐつた



なるなら、專坊はあツしが見てゐませうその方が、何かとお樂でせうから……』

と、庄太郎はいつた。庄太郎に、それは、苦肉の策だつたのである。

母であるち江は、家へ殘した專之助のことを案じて自然手早く話を片付け、いそいで歸つて來るであらうと、庄太郎は、そこまで心を使つゐた。

その心持、ち江にわかぬ道理はないのだから、庄太郎には隱れて、そッとぬれた目頭を拭ふ彼女だつた。

『では――おねがひいたします』

その、ほッそりとやさしい肩には、背負ふに耐へまいと思へる心の重荷を抱いて、ち江は、深く何事かを決しながら、家を出て行つた。

專之助は、母の姿を追ふ

中央最高價格決定（昭和一三）

天氣豫報

小名濱測候所調査

今朝　南東の風晴
夕　曇つたり
明日　北東の風天氣次第に悪し

（日曜祭日翌日休刊）
東京電話一〇六五五八番

体位向上の夏！

新舞子、四倉の海は招くよ
海岸行は快適な木炭バスで

新型木炭バス購入――ガソリン消費規正以來皆樣に多大の御不便をかけ致しました所、此の度最新式大型木炭バス二輛を購入、運轉回數を增加して夏の海への輸送陣容を整へました。体位增進の夏、海水浴はせひ國策の木炭バスに乘つて――

平……四倉　往復二割引　四十錢
（團体は特に御相談に應します）

御案内　自動車停留所からの道程
※ピクニック、船遊びには日本百景新舞子、仁井田浦へ……約二丁
※海水浴には……四倉海水浴場へ……約一丁
※波立藥師、鰐ケ淵海岸へは……約八丁

平市四丁目
合名會社　平四倉乘合自動車
電話五九四番

電話新設
第七七四番
平木工家具工業組合臨時事務所
荒川淺次郎宅
平市立町十一番地
目下佃町一ノ一二木工作業所建設中

第七八八番　御利用下さい
平市田町
婆　鈴木こゝ工

第七七三番
保証責任
平市板金加工工業組合
平市大町四十三番地

第七七六番　御利用願マス
八幡小路八〇
磐城メリヤス工業組合事務所
軍手、軍足、各種靴下製造元
坂本メリヤス工場

電話新設
第七七八番
高橋活版所
平市　搔槌小路一番地

第七七五番
平市南町一九
保証責任　理事長　石城製靴工業組合
栗原森之助

優等賞受領
登錄商標　稲萬歳
妻
植田町
古川酒造店吟釀
電話一六番

旅館
合大本館
私は平市出身ですから特に鄉里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄
電話下谷局六七七番
東京上野驛前
下谷郵便局横通角

國は一ッポン。魚は凍魚
日本水産特約
卸小賣　平製氷社會
電三三八・三六
タヒ鯛
エビ甘
白マナ鰹
魚帆立貝柱
冷カツノコ
ウニ貝燒
ヒマル凍魚
平代理店　四丁目　魚岡屋
電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

小瀧は招く
一日の清遊には……
どうぞ小瀧へ！
お迎へにお送りに輕快な馬車の用意があります
鐵道指定旅館
割烹　小瀧
電話小名濱一〇三

清涼の
アイスキャンデ　一錢
當店獨特
ミクルカクテル　一個五錢
お客樣のお茶代り
お幾等にても御屆けいたします
五丁目
賣子さん募集　吉田屋
キャンデー部
電話二二〇番

りん病　こしけ
岩里　別府淋藥
一週間分參圓（黑）五圓（赤）
痛みある病。熱ある病
岩里　別府散　七包入五十錢　十五包入壹圓
製藥本舗　別府市　岩里天然堂
平市古銀治町一〇
代理店　阿康藥局
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
◇堅實な營業方針の　サロンのお客樣は當地一流の方々です
◇色々な方に接することが　社交儀禮の實際に學び　成功の糸口ともなります
調理見習婦人
◇評定ある　サロンの調理法を御傳授いたします
◇見習ひとして調理場に御勤務出來る御婦人に限る
◇14歳以上30歳迄の健康な方
◇3年以上勤續出來る方
◇親權者若くは本人御來談下さい
平市銀座街
電話529　サロン

御婚禮御着附
パーマネント　ウエーブ
洋和結髮　オゾン美顏術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛
美爪術電話　六七八營業所　五二五自宅
平市驛前
水野化粧院

強い自轉車とリヤカー
フタバ商會
新川町郵便局向

加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多産種狸、フイッチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雑子家禽各種
平產業養狸組合事務所
乾產業會社畜產部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
內郷村境（平市外）
出張所　平驛前　電六四八番
分讓所　東京市淀橋區下落合

薬品飼料
養殖各種
◇ジステンバー豫防液
東亞製藥所製
綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末（動物わかもとの稱あり）
◇フイッシミール養殖魚粉
北里研究所製
出張所　平驛前　電六四八番
分讓所　東京市淀橋區下落合
病理研究、診療
養殖劑の配劑
飼育指導の需に應
擔任技師　獸醫師

總動員の態勢整然と
防空大演習無事終了
溢れ出た今朝の感激

戰時下の息詰る一大防空演習は終つた。英大使遂に屈して我が原則的主張を承認、俄然當面の日英會談に光明を見出した！快ニュースが入つた折柄丈けに朗かさも一入である。願へば本年一番の最高氣温と云はれた去る十七日に準備訓練のトップを切つて以來茲に前後六日間、日夜を分たぬ警防團、家庭防空群の活動に全市民の緊張を總動員した實戰さながらの演習は戰局の進展に拍車されて從來以上極めて真劍に行はれ、因て得たる各自の体驗こそ蓋し何物にも替ね難い尊貴なものであつた。けよ期間中の强直した手脚を伸ばして徐ろに疲勞の恢復を圖り乍ら、益々緊迫し來つた非常時意識を强調するお互である。

警戒時の管制は あまり暗すぎる
今演習に對する綜合意見

戰時色を反映した今演習は全般的に見て成績『甲の上』と云はれしるが個別的には尚ほ改善を要する點が多々あるだらう、次は『實戰的の觀念』に基いた各方面の綜合意見で大に肯かれる警戒管制中空襲時と同樣窓々を遮閉したところもだいぶあつたなとあまりに暗すぎた觀があり殊に店先が眞暗らのため商品の見分けすら出來ない處もあつた。減燭して店先を内部に照らすのが適當であり要は警戒から空襲へと機敏に管制出來ればよい、家庭防空家事擔當者を雇人まかせにしたのもあつたがこれは身内のものが當らねばならない！家族が物見的に集團してゐたのは遺憾であつた、一段落後の態度がまたまち〳〵で三々五々夕涼みの觀を呈してゐたのもあつたが空襲中は必ず軒下に立つて敵彈落下に注意せねばならない重要地域或は高層建築物へ

敵彈落下の際はその中の人達では間に合はないから四隣の防空群の活動が望ましい、燒夷彈落下には容易に近づき難いからこれはもつと遠くでガス彈の時は附近の窓を閉鎖したも風上に避難の後適當な處置を講ずる訓練が要る。防空群の動作は準備訓練中は甚だ遺憾な點もあつたが本演習に入るやあはてず、遲れず綽々たる餘裕を見せたのは團体訓練のたまものである

虛を衝いて敵彈投下
今早朝迄の猛訓練

假裝敵彈の投下も演習だけだいぶあつたが概して良好なはになるにつれ連絡の眞な成績を收めたのは非常時ん中から更に屋根の上や狹い路次に迄及び、實戰その方强いものがあるがたゞ一まゝの各種訓練が續けられさのも第四日目の如きも本二非國民的の態度に出たるのあるを聞いたのを遺憾と部の市役所は正午、午後三されてゐる時の二回に亘つて、表廣場や裏口の二ヶ所に燒夷彈を見舞はれ『ソレ』と云ふ間もあらず吏員一同が出動、消火のバケツ運搬に大童だつた外今最終日早朝四時の最後の訓練迄市内各所にもその虛を衝かれたところも

警戒團前線部隊に講評
演習

警防團員に對する演習の講評は今二十二日午前七時から公會堂前で行ひ、先づ皇居遙拜默禱に次いで柴田署長から詳細な講評訓示後青沼市長から各般に亘る講評を行つた

防空群に對する講評は今二十五日午後一時から公會堂で群長以上を集めて行ひ青沼市長から各般に亘る講評訓示後青沼市長（團長代理）の挨拶で萬歲三唱散會した

防空群に對する講評を二十五日午後一時から公會堂で群長以上を集めて行ひ一層深刻なるものがあらう平稅務署管内に於ける本三年創設當時の三百圓が大

今の二千五百人から 新資格者は何倍に？
所得免稅點引下の響き

現下時局の重要性と我が國年度の第三種所得稅は納稅人員二千五百九人この稅額圓、同九年八百圓、同十五年千二百圓を順次繰上げられ一躍昭和十二年現行の千圓に引下げられたものである

正二年四百圓、同七年五百圓、同十年千圓、同十五年千五百圓、同十八萬五千六百二十八圓、同署管内直接稅中の上位を占めて居るが之の稅制整理案が明年度から實施されると納稅人員の何倍化は蓋し既定の事實であり大ていの俸給生活者は何れも新に國稅納稅者となる之を條件とする資格の獲得なる形勢となつて來た。全國的に影響の大なるは云ふ迄無いが炭礦關係等で課稅の無い炭礦關係等で課稅の實料に伸びきならぬ俸給生活者が多い土地柄、市郡どこに大なる影響を齎らすかは免稅點の沿革は明治二十年創設當時の三百圓が大

商工會役員會
平商工會役員會を二十三日午後七時半からマルトモに開き左記諸件協議
商品券印紙稅、商店勞力不足對策、店員道場開設、役員增加推薦、商工會議所設立促進

二十餘日振りで 坪當り二升五合の雨
蚊の涙に農家失望

（二升五合六二）それも去月二十六日から二十七日へかけて九斗四升四合二八の降る以來實に二十日振りの雨湿りで眞に一滴千金の慈雨乍ら地下に浸透する迄に至らなかつたが憾みである（正午稿）

制覇に燃えて 磐中平商軍出福
あす縣下野球大會

縣下中等學校野球大會は愈に活氣づけられ意氣揚々と明二十三日に切迫、今二征途に上つた、兩校選手の十二日午後二時から當番校ベストナインが母校と郷土の名譽を双肩に制覇ハ榮光の組島商業講堂で運命の組合せ主催會議が行はれるのを目指して競ふ正々堂々の參加十六校中必勝を期し戰ひこそ銃後若人の至純な熱般赤猛練習を續ける來白兵戰をありファンの待望たる磐中、平商兩校選手は今は一に兩校選手の戰線如何に繫つて居る

二十餘日振りで 坪當り二升五合の雨
蚊の涙に農家失望

警戒警報解除が街々にふれ空襲が切れてそれも望み薄となり、九時から一寸降るかと思はれたが間もなく晴れ、正午には降つたが、警戒通り蚊の涙で神谷農試分場の觀測によると坪當り僅か一ミリ四（二升五合六二）それも去月二十六日から二十七日へかけて九斗四升四合二八の降る以來實に二十日振りの雨湿りで眞に一滴千金の慈雨乍ら地下に浸透する迄に至らなかつたが憾みである（正午稿）

消防部員 傷つく
演習梯子が折れて 防空群三名負傷す

警防團第二分團所屬消防部員市内四軒町山野邊龜雄（三八）氏は昨二十一日夜第四回目の空襲警報で柳町方面大火の報に接し急行、消火に盡力中消火栓で右足に要二週間の公傷を負ひながら二週間の公傷を負ひながら活動を續け消防部員の鑑査を受けた

戰時工業の 未經驗者優遇
賃金委員を囑託

戰時工業に從事する勞働者中十二才以上二十才までの未經驗者の初給賃金を向上しその生活を保障せんとする第一回賃金委員會開催に先立ち縣ではこれが委員を囑託したが地方關係は平電氣鑄鋼所代表社員本藤の又二郎氏の公傷を負ひながら勝、錦村吳羽紡績社鈴木一兩氏

盲生今夏も 國防献金
歸省せずに奮鬪

磐城訓盲院生徒は事變勃發以來冬中休暇の歸省を廢し一般來院者の鍼按療治に從事しその所得を國防献金して來たが今年も來る二十五日から向ふ一ヶ月間毎日午前八時から午後三時迄之れに從事し同樣献金する事となつた

彼のお守りを着け 戰場に突進の覺悟
五町目出身 瀧口末吉君（通信）

此度は御叮寧なる御手紙並びにお守り袋一式確に拜受致しました。それは愈よ自分の武運尊本當に有り難う御座いました。本當に大きな仕事して見せると云ふ必の確信の如きものを得た。今や北滿洲の國境は西部の空に非常に風雲急を告げ敵の大編隊の飛行機は度々襲撃越境し來り、我々のお守りを背負つて戰場に出る覺悟なる御手紙す。それは愈よ自分の武運尊本當に有り難う御座いました。本當に大きな仕事して見せると云ふ必の確信の如きものを得たのであります。